

第3期 中期目標期間 業務実績見込報告書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 8年 3月 31日

地方独立行政法人広島市立病院機構

目 次

「広島市立病院機構の概要」

1 現況	
(1) 法人名	1
(2) 本部の所在地	1
(3) 設立年月日	1
(4) 役員の状況	1
(5) 設置・運営する病院・施設の概要	2
(6) 職員数	2
2 広島市立病院機構の基本的な目標	3

「全体的な状況」

1 総括	4
2 項目別評価（大項目）	
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成 するためとるべき措置	5
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	9
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	12
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	12

「項目別状況」

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成 するためとるべき措置	
1 市立病院として担うべき医療	13
2 医療の質の向上	28
3 患者の視点に立った医療の提供	37
4 地域の医療機関等との連携	43
5 市立病院間の連携の強化	50
6 保健・医療・福祉・教育に係る行政分野への協力	52
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 業務運営体制の確立	53
2 人材の確保、育成	55
3 弾力的な予算の執行、組織の見直し	61
4 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり	63
5 外部評価等の活用	67
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 経営の安定化の推進	68
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
1 広域的な医療提供体制に係る調査・研究	74

「広島市立病院機構の概要」

1 現況

(1) 法人名

地方独立行政法人広島市立病院機構

(2) 本部の所在地

広島市中区基町7番33号（広島市民病院西棟2階）

(3) 設立年月日

平成26年4月1日

(4) 役員の状況

区 分		氏 名	就任年月日	備 考
理 事 長	常勤	竹内 功	（令和3年7月1日～ 令和7年3月31日）	
		秀 道広	令和7年4月1日	
副理事長	常勤	影本 正之	（令和3年7月1日～ 令和7年3月31日）	
		阪谷 幸春	令和7年4月1日	
理 事	常勤	松村 司	（令和3年7月1日～ 令和5年3月31日）	本部事務局長
		和田 厚志	令和5年4月1日	
理 事	常勤	秀 道広	（令和3年4月1日～ 令和7年3月31日）	広島市民病院長
		松川 啓義	令和7年4月1日	
理 事	常勤	土手 慶五	（令和2年4月1日～ 令和5年3月31日）	安佐市民病院長
		小野 千秋	（令和5年4月1日～ 令和7年3月31日）	
		永田 信二	令和7年4月1日	
理 事	常勤	高蓋 寿朗	平成31年4月1日	舟入市民病院長
理 事	常勤	加世田ゆみ子	（令和4年4月1日～ 令和5年3月31日）	リハビリテーション病院長
		竹下 真一郎	令和5年4月1日	
理 事	非常勤	相田 俊夫	平成26年4月1日	公益財団法人大原記念倉敷 中央医療機構 名誉相談役

理 事	非常勤	森信 秀樹	平成 26 年 4 月 1 日	広島経済同友会 特別幹事
監 事	非常勤	寺垣 玲	平成 30 年 4 月 20 日	弁護士
監 事	非常勤	安部 貴之	(平成 30 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 6 月 30 日)	公認会計士
		吉中 邦彦	令和 4 年 7 月 1 日	

(5) 設置・運営する病院・施設の概要

ア 病院

病院名	所在地	病床数
広島市民病院	広島市中区基町 7 番 3 3 号	一般病床：7 1 5 床 精神病床：2 8 床
北部医療センター 安佐市民病院	広島市安佐北区亀山南一丁目 2 番 1 号	一般病床：4 1 4 床 精神病床：2 0 床
舟入市民病院	広島市中区舟入幸町 1 4 番 1 1 号	一般病床：1 4 0 床 感染症病床：1 6 床
リハビリテーション病院	広島市安佐南区伴南一丁目 3 9 番 1 号	一般病床：1 0 0 床

イ 施設

施設名	所在地	病床数
自立訓練施設	広島市安佐南区伴南一丁目 3 9 番 1 号	自立訓練：定員 6 0 人 短期入所支援：定員 5 人

(6) 職員数（令和 7 年 4 月 1 日）

区 分	職員数
広島市民病院	1, 8 8 9 人
北部医療センター安佐市民病院	1, 2 3 3 人
舟入市民病院	2 6 9 人
リハビリテーション病院・自立訓練施設	2 4 9 人
本部事務局	6 0 人
合 計	3, 7 0 0 人

2 広島市立病院機構の基本的な目標

広島市民病院、北部医療センター安佐市民病院、舟入市民病院、リハビリテーション病院・自立訓練施設では、救急医療や周産期医療、小児医療など市民生活に不可欠な医療や、がん、脳卒中、急性心筋梗塞などの治療を中心とした高度で先進的な医療、さらには感染症医療やリハビリテーション医療を、それぞれの病院の特徴を生かし、積極的に提供するとともに、地域の医療機関等との連携強化に努め、地域医療を支えている。

引き続き、救急医療等広島市の医療施策上必要とされる医療の提供に取り組むとともに、病院の医療水準の維持、向上を図り、より一層高いレベルの医療を提供するなど、地域における中核病院としての役割を積極的に果たしていくことが求められている。

広島市立病院機構は、そうした要請に応えるとともに、自律性、機動性、透明性という地方独立行政法人制度の特長を最大限に生かしながら、高度で先進的な医療の提供、医療に関する調査・研究、地域の医療機関等と連携した地域医療の支援等を行い、市民の健康の維持及び増進に寄与することを基本的な目標とする。

「全体的な状況」

1 総括

第3期中期目標の期間においては、独立した法人として、より自律的かつ弾力的な病院経営が実現できる法人制度の特長を最大限に活かして、引き続き本法人の目標とする「市民に信頼され満足される質の高い医療の継続的、安定的な提供」を念頭に、さらなる「医療機能の拡充」、「運営体制の強化」、「安定した経営の維持」に向けて次のことに取り組んだ。

- ① 理事会における幅広い専門的な意見を反映しながら、法人の経営方針や各種施策の実施、規程の改正等について審議を行うことにより、法人の意思決定を慎重かつ適切に行い円滑な病院運営に努めた。
- ② 地域の医療機関との役割分担・連携のもと、救急医療、小児・周産期医療、感染症医療、リハビリテーション医療、災害時の医療を提供した。
- ③ 医療の質の向上については、医療需要の変化、医療の高度化に的確に対応した医療が提供できるよう、医療スタッフの知識の習得や技術の向上、医療機器の整備・更新等の推進、医療スタッフが診療科や職種を越えて連携するチーム医療の推進などにより医療サービスの向上に努めた。
- ④ 業務運営体制の改善については、医療クラークや看護補助者の増員による医師や看護師等の業務負担軽減や、RPAやAI、スマートデバイス等の医療DXによる業務効率化を推進した。
- ⑤ 特に、令和4年5月に北部医療センター安佐市民病院を移転・開設し、地域救命救急センターによる県北西部地域における三次救急医療の提供や、がん診療に関連する部門を集約させた通院治療センターによる外来がん治療等に取り組んだ。
- ⑥ 財務面においては、令和4年度は安佐市民病院の移転に伴う費用の影響により、
▲11.6億円の赤字となった。令和5年度は新型コロナウイルス感染症に係る補助金等の減少や、給与改定等により給与費が増加したことから、▲21.4億円の赤字となった。令和6年度は、前年度に比べ、診療単価の増等により入院・外来収入が増加したものの、給与改定等により給与費が増加したことや、高額医薬品の使用の増加等により材料費が増加したことから、支出が収入を上回り、▲34.1億円の赤字となった。

2 項目別評価（大項目）

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

大項目	達成状況（評価理由）
1 市立病院として担うべき医療	それぞれの病院の特徴を生かし、他の医療機関との役割分担、連携を図りながら、市民生活に不可欠な医療や高度で先進的な医療を提供した。 （広島市民病院） 救急医療については、救急患者等に対する相談機能の充実を図るとともに、救急医療コントロール機能病院として、支援病院と連携し、受入困難事案の特定患者の受入れを行うなど、一次から三次までの救急医療を24時間365日体制で提供した。 がん医療については、ロボット手術の適用範囲の増加やがんゲノム医療センターの開設などにより、がん診療機能の充実を図るとともに、がん相談室において患者及び家族の相談に応じた。 周産期医療については、NICU（新生児集中治療室）とGCU（新生児治療回復室）において、リスクの高い妊産婦や極低出生体重児の医療など総合的で高度な周産期医療を提供した。 災害医療については、災害時に備えたライフライン機能の維持や医薬品、食料品の備蓄等に取り組むとともに、令和6年1月の能登半島地震に関し、DMATや災害支援ナース等を被災地に派遣した。 （安佐市民病院） 救急医療については、移転開設に伴い、救命救急センターを設置し、北部地域における三次救急医療を24時間365日体制で提供した。 がん診療については、手術や薬物療法、放射線治療等を組合せた治療を行うとともに、通院治療センターを設置して外来化学療法を推進するなど、がん診療機能の充実を図った。 災害医療については、災害拠点病院としてのライフライン機能の維持や、医薬品、食料品の備蓄等に取り組むとともに、令和6年1月の能登半島地震に関し、DMATや災害支援ナース等を被災地に派遣した。 へき地医療については、広島県北西部地域医療連携センターにおいて、へき地診療所等への医師派遣や、北部地域の医療従事者に対する研修などを行った。 DXの活用として、スマホアプリによる患者呼び出しサービスや、AIによる画像診断の補助、RPAによる業務の自動化等を導入した。 （舟入市民病院） 小児救急医療については、市立病院間の応援体制を整えるとともに、医師会、広島大学等の協力を得て24時間365日体制で小児救急医療の提供を行った。

大項目	達成状況（評価理由）											
	感染症医療の提供については、第二種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、広島県や広島市、近隣の病院等と連携し、率先して患者を受け入れた。 病床機能の有効活用については、広島市民病院から急性期医療を終えた患者を受け入れるとともに、地域の医療機関からの紹介患者も積極的に受入れた。 障害児（者）診療相談機能の充実については、病床を2床から3床に増床し、医療型重症心身障害児（者）短期入所利用者の受け入れを強化した。 （リハビリテーション病院） 脳血管障害や脊髄損傷などによる中途障害者の社会復帰や社会参加を促進するため、高度で専門的な医療と自立のための訓練や相談など、生活の再構築のため一貫したリハビリテーションサービスを提供した。 また、365日切れ目ないリハビリテーション医療を提供するため、土日祝日における療法士を平日並みに配置し、効果的な回復期リハビリテーション医療を提供した。 患者が退院後に、地域で療養や生活が維持できるよう、入院早期からの退院支援を行うとともに、退院後も集団コミュニケーション療法及び個別言語聴覚療法が必要な対象者に対し、短時間通所リハビリテーションを実施した。 さらに、自立訓練施設については、提供する支援を充実させるため、高次脳機能障害者を対象とする自立訓練（生活訓練）を実施するとともに、利用者の拡大を図るため、地域の医療機関や関係機関との連携強化に取り組んだ。 <table border="1" data-bbox="432 1368 1126 1594"> <tr> <th colspan="3">年度別評価点</th><th rowspan="2">中期目標 期間中の 自己評価</th></tr> <tr> <th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>(3)</td><td>3</td></tr> </table> ※ 令和6年度の評価点は、広島市の評価前のものであるため、法人の自己評価を基に算出した。（以下の項目において同じ。）	年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3	3	(3)	3
年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価									
令和4年度	令和5年度	令和6年度										
3	3	(3)	3									

大項目	達成状況（評価理由）											
2 医療の質の向上	医療需要の変化や医療の高度化に的確に対応するため、研修の充実を図るとともに、認定看護師資格など必要とされる資格取得の促進や診療科の再編を行った。各病院においては、放射線治療システムの更新や内視鏡下手術用ロボットの増設など、医療機器の計画的な整備・更新を行った。 また、医療スタッフが診療科や職種を越えて連携し、専門的、総合的な医療を提供するため、チーム医療の推進に取り組んだ。 第二種感染症指定医療機関である舟入市民病院を中心に、各病院で新型コロナウイルス感染症患者や、回復後も入院管理が必要な患者等を受入れた。 <table border="1"> <tr> <th colspan="3">年度別評価点</th><th rowspan="2">中期目標 期間中の 自己評価</th></tr> <tr> <th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr> <tr> <td>4</td><td>4</td><td>(4)</td><td>4</td></tr> </table>	年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度	4	4	(4)	4
年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価									
令和4年度	令和5年度	令和6年度										
4	4	(4)	4									
3 患者の視点に立った医療の提供	病院情報の提供について、各病院のホームページの充実を図るとともに、患者等が病院を選択する上で必要な情報の提供等を行った。 良質な医療を安全、適正かつ効率的に提供するため、クリニカルパスの更新や、クリニカルパスの活用拡大に努めたものの、クリニカルパス適用率が目標値を下回った病院があった。 また、接遇研修等を行い能力向上に努めるとともに、病院給食及び患者満足度に関するアンケート調査を実施し、改善が必要と判断されるものについて順次、その改善に取り組んだが、患者満足度が目標を下回った。 <table border="1"> <tr> <th colspan="3">年度別評価点</th><th rowspan="2">中期目標 期間中の 自己評価</th></tr> <tr> <th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr> <tr> <td>2</td><td>2</td><td>(3)</td><td>2</td></tr> </table>	年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度	2	2	(3)	2
年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価									
令和4年度	令和5年度	令和6年度										
2	2	(3)	2									

大項目	達成状況（評価理由）											
4 地域の医療機関等との連携	地区の医師会との意見交換会や地域医療機関と合同でマルチケアフォーラムを開催するなど、地域の医療機関との連携を深め、患者紹介・逆紹介の促進に取り組み、地域の医療機関との適切な役割分担を進めた。 地域の医療水準の向上を図ることを目的として、病院が保有する高度医療機器の共同利用や開放型病床の利用促進について働き掛けを行った。 安佐医師会病院や県北西部地域の医療機関に医師を派遣し、診療支援を行った。 各病院とも、福祉事務所や地域包括支援センター、介護サービス事業所等の福祉機関と連携し、患者の退院後の療養や介護などの支援を行った。 <table border="1"> <tr> <th colspan="3">年度別評価点</th><th rowspan="2">中期目標 期間中の 自己評価</th></tr> <tr> <th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr> <tr> <td>4</td><td>4</td><td>(4)</td><td>4</td></tr> </table>	年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度	4	4	(4)	4
年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価									
令和4年度	令和5年度	令和6年度										
4	4	(4)	4									
5 市立病院間の連携の強化	毎月、本部事務局及び各病院の病院長、看護部長・総看護師長、事務長が出席する経営会議を開催し、課題の検討、意思の統一化を図った。 一つの病院群としての病院運営を推進するため、広島市民病院と舟入市民病院の連携、リハビリテーション病院と広島市民病院及び安佐市民病院との連携強化により、急性期の治療から回復期のリハビリテーションまでを連続的・一体的に提供した。 各病院の職種ごとの責任者が病院の枠を越えて現状と課題について協議する場として部門会議を開催するとともに、職員の適性等を踏まえた人事交流により、各病院運営が活性化するように、病院間の異動を行った。 4病院の病院総合情報システムにおいて、電子カルテを中心としたシステムの円滑な運用を行うとともに、4病院間の円滑な情報伝達、共有化を実施した。 <table border="1"> <tr> <th colspan="3">年度別評価点</th><th rowspan="2">中期目標 期間中の 自己評価</th></tr> <tr> <th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr> <tr> <td>4</td><td>4</td><td>(4)</td><td>4</td></tr> </table>	年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度	4	4	(4)	4
年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価									
令和4年度	令和5年度	令和6年度										
4	4	(4)	4									

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

大項目	達成状況（評価理由）												
1 業務運営体制の確立	理事会において、法人の方針決定や目標達成に向けた迅速な意思決定を行うとともに、毎月、各病院長等が出席する経営会議において、主要な課題等について、協議及び検討を行うなど、理事会を中心とした組織運営を行った。 D Xを活用した業務の効率化や改善のため、本部事務局財務課に「情報・D X戦略担当課長」を配置し、「D X推進係」を新設した。 広島市民病院、安佐市民病院、舟入市民病院では、患者確認や医師指示内容の確認を行うスマートデバイスを導入し、業務の効率化を図った。 安佐市民病院では、R P Aを活用した業務の自動化に取り組み、時間外労働の削減に繋げた。また、その他の病院でも、先行する安佐市民病院の職員が講師となって研修会を開催し、R P Aによる業務の自動化を推進した。 <table border="1"> <tr> <th colspan="3">年度別評価点</th><th>中期目標 期間中の 自己評価</th></tr> <tr> <th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th></th></tr> <tr> <td>4</td><td>4</td><td>(4)</td><td>4</td></tr> </table>	年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度		4	4	(4)	4
年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価										
令和4年度	令和5年度	令和6年度											
4	4	(4)	4										

大項目	達成状況（評価理由）												
2 人材の確保、育成	看護師の確保においては、優秀な人材を早期に確保するための推薦試験や、育児、介護を理由に当機構を退職した者を対象とした採用試験を実施したほか、一般採用試験においても実務経験の有無により区分し、実施した。 医療技術職の確保については、退職等による欠員を解消するため、年度中途に採用試験を実施し、人材の確保を図った。 法人の事務職員を計画的に採用し、広島市からの派遣職員との切替えを進めた。また、令和6年度に医療材料に関する研修を実施し、事務職員の専門性の向上を図った。 医療スタッフの専門性や医療技術の向上を図るため、各病院において院内研修の充実や各種学会、研修会への参加促進に取り組むとともに、認定看護師等の資格取得を促進した。 <table border="1"> <tr> <th colspan="3">年度別評価点</th><th>中期目標 期間中の 自己評価</th></tr> <tr> <th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th></th></tr> <tr> <td>4</td><td>4</td><td>(4)</td><td>4</td></tr> </table>	年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度		4	4	(4)	4
年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価										
令和4年度	令和5年度	令和6年度											
4	4	(4)	4										
3 弾力的な予算執行、組織の見直し	予算編成は、毎年度の病院の経営状況を踏まえ、予算編成方針を理事会に諮り、決定した上で実施した。 D Xを活用した業務の効率化や改善のため、本部事務局財務課に「情報・D X戦略担当課長」を配置し、「D X推進係」を新設した。また、安佐市民病院に、認知症の診断や治療、専門医療相談等を行うため、「広島市北部認知症疾患医療センター」を設置した。 <table border="1"> <tr> <th colspan="3">年度別評価点</th><th>中期目標 期間中の 自己評価</th></tr> <tr> <th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th></th></tr> <tr> <td>4</td><td>4</td><td>(4)</td><td>4</td></tr> </table>	年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度		4	4	(4)	4
年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価										
令和4年度	令和5年度	令和6年度											
4	4	(4)	4										

大項目	達成状況（評価理由）											
4 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり	病棟の看護師の負担を軽減するため、広島市民病院では介助業務員を育成し、安佐市民病院では看護補助者に対する定期的な研修を実施するなど、看護補助業務の質の向上を図った。 各病院に、ハラスメント対策に係る組織を設置し、ハラスメントの状況把握、防止に関する研修などの対応を行ったが、令和5年度及び令和6年度にパワーハラスメント事案各1件の懲戒処分を行った。 医師等の働き方改革の推進のため、タスクシフトの観点から医療クレークを増員し、医師の負担軽減に努めた。一方で、医師の一部については、法で定められた5日間の年次有給休暇が取得できなかった。 <table border="1"> <tr> <th colspan="3">年度別評価点</th><th rowspan="2">中期目標 期間中の 自己評価</th></tr> <tr> <th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr> <tr> <td>4</td><td>2</td><td>(3)</td><td>3</td></tr> </table>	年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度	4	2	(3)	3
年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価									
令和4年度	令和5年度	令和6年度										
4	2	(3)	3									
5 外部評価等の活用	会計監査人による、病院の医薬品等の棚卸の立会いや、財務諸表等の決算に係る審査等を受け、意見のあった事項については適切に処理した。 監事監査規程に基づき、監事による4病院の实地監査及び書類監査を計画的に行った。 <table border="1"> <tr> <th colspan="3">年度別評価点</th><th rowspan="2">中期目標 期間中の 自己評価</th></tr> <tr> <th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr> <tr> <td>4</td><td>4</td><td>(4)</td><td>4</td></tr> </table>	年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度	4	4	(4)	4
年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価									
令和4年度	令和5年度	令和6年度										
4	4	(4)	4									

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

大項目	達成状況（評価理由）												
経営の安定化の推進	経費の削減に向けて、設備保守点検業務などについて長期・複合契約により一括発注するとともに、価格交渉落札方式による調達の実施などを行った。また、医薬品については、関係部署が共同しての価格交渉や後発医薬品への切替え、後発医薬品の使用量の増加を推進した。さらに、診療材料については、広島市民病院と安佐市民病院の診療科ごとの医師等と会議を実施し、共通化を推進した。 収入の確保に向けては、診療報酬制度の改定に対応した適正な施設基準や新たな診療報酬加算の取得に努めた。 入院・外来収入は増加したものの、給与費の増加や材料費の高騰等の影響により、経常収支比率などの目標を達成することができなかった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">年度別評価点</th><th>中期目標 期間中の 自己評価</th></tr> <tr> <th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td><td>2</td><td>(2)</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度		2	2	(2)	2
年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価										
令和4年度	令和5年度	令和6年度											
2	2	(2)	2										

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

大項目	達成状況（評価理由）												
広域的な医療提供体制に係る調査・研究	地域医療連携推進法人制度の趣旨等の把握及び全国の設立法人に関する実態調査を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">年度別評価点</th><th>中期目標 期間中の 自己評価</th></tr> <tr> <th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td><td>4</td><td>(4)</td><td>4</td></tr> </tbody> </table>	年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度		4	4	(4)	4
年度別評価点			中期目標 期間中の 自己評価										
令和4年度	令和5年度	令和6年度											
4	4	(4)	4										

項目別状況

【主な取組】

中期計画

||
||
||

||
||
||

||
||
||

||
||
||

||
||
||

||
||
||

||
||
||

中期計画	(ウ 診療体制の充実)	事業年度評価結果（小項目）		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
		3	3	(3)

【主な取組】	
○ 広島市民病院では、血液疾患に係る設備の充実のため、令和4年度に西7病棟に無菌病室を整備した。	

中期計画	(エ 医療機器の整備・更新)	事業年度評価結果（小項目）		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
		3	3	(3)

【主な取組】	
○ 病院の医療水準の維持及び向上につながる医療機器を計画的に整備・更新した。 広島市民病院では、放射線治療システムの更新や内視鏡下手術用ロボットの増設などを行った。	

||
||
||

||
||
||

||
||
||

||
||
||

